

「ユビキタス機能を応用した高機能自動火災報知設備の 開発に関する検討会報告書（平成19年度）」の公表

消防庁では、近年の無線情報通信の技術発展に伴い、これまで有線方式であった自動火災報知設備の情報伝達手段に、多様なニーズに対応するため無線方式の採用を目指し、新たなシステムの検討を行うとともに、消防防災分野へのユビキタスネットワークの利活用の将来像を検討するため、平成17年6月に学識者、有識者等から構成する「ユビキタス機能を応用した高機能自動火災報知設備の開発に関する検討会」（委員長 石井弘允日本大学教授）を設置しました。

本検討会では、平成19年度までの3ヵ年計画で検討が行われてきたところですが、このたび、最終年度となる平成19年度の報告が取りまとめられましたので、別添のとおりに公表いたします。

<添付資料>

- 1 [ユビキタス機能を応用した高機能自動火災報知設備の開発に関する検討会報告書（平成19年度）の概要](#)

※[報告書全文](#)については、消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）に掲載します。



消太

(連絡担当者)
総務省消防庁予防課 鳥枝、氏家
Tel 03 - 5253 - 7523
Fax 03 - 5253 - 7533